

看護技術総合演習	4 年・前期	1 単位 30 時間	教授 本吉美也子 他
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111174

1. 授業のねらい・概要

これまでの講義・演習・実習での学びを総合的に振り返り，学生が本演習を通じて看護技術における卒業時到達目標達成度を確認し，卒業までに身につける必要がある看護技術の修得をめざすことを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 卒業時の到達目標を述べることできる。(D-2)
2. 領域毎に設定した演習課題における到達目標を述べることできる。(D-2)
3. 領域毎に設定した演習課題における看護技術を実践できる。(D-2)
4. 演習を通して実施した看護技術の振り返りができる。(D-2)
5. 看護実践能力として身につける必要がある看護技術項目を確認することできる。(D-2)

3. 授業の進め方

領域毎にオムニバスに演習授業を担当し進める。事例により OSCE (Objective Structured Clinical Examination: 客観的臨床能力試験) 等も使用することがある。各領域の日程・演習方法等は，別途提示する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして，体験学習，ロールプレイ，グループワーク，等を用いる。

【ICT 活用の有無】

ICT 活用の実施：Classroom 等による，学習課題や学習教材の提示・配信，学習課題の提出等。
メールやチャット等による学生と教員間での学習に関するコミュニケーションの機会。

4. 授業計画（演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	卒業時の到達目標および看護技術総合演習授業について	講義 演習	予習：各領域の学修課題を確認しておくこと 復習：各演習後は振り返りをする。	本吉美也子，片貝智恵，千木良悦子，石井みゆき
2	総合演習：成人看護学 訴えのある患者の観察・問診	演習	予習：訴えのある患者の観察・問診項目について調べておくこと。 復習：訴えのある患者の観察・問診についての演習での気づきをメモしておくこと。	本吉，片貝，千木良，石井
3	総合演習：成人看護学 コミュニケーション	演習	予習：患者とのコミュニケーションの手法について調べておくこと。 復習：コミュニケーションの演習での気	本吉，片貝，千木良，石井

			づきをメモしておくこと。	
4	総合演習：成人看護学 清潔援助・更衣介助：意識障害，麻痺のある患者，点滴中の患者	演習	予習：清潔援助・更衣介助：意識障害，麻痺のある患者，点滴中の患者の援助の留意点について調べておくこと。 復習：清潔援助・更衣介助：意識障害，麻痺のある患者，点滴中の患者について，実施してみての気づきをメモしておくこと。	本吉，片貝，千木良，石井
5	総合演習：成人看護学 移送・移動介助：麻痺のある患者	演習	予習：移送・移動介助：麻痺のある患者の留意点について調べておくこと。 復習：移送・移動介助：麻痺のある患者に援助してみteの気づきをメモしておくこと。	本吉，片貝，千木良，石井
6	総合演習：小児看護学	演習	予習：発達段階に合わせたフィジカルアセスメントについて調べておくこと。 復習：演習と予習内容を照らし合わせ，演習での気づきをメモしておくこと。	柴崎由佳，市村路子
7	総合演習：小児看護学	演習	予習：子どもの日常生活援助と環境調整について調べておくこと。 復習：演習と予習内容を照らし合わせ，演習での気づきをメモしておくこと。	柴崎，市村
8	総合演習：母性看護学	演習	予習：妊産婦の看護技術について調べ，練習をしておくこと。 復習：各演習後は指摘された部分を振り返り，できるまで練習しておくこと。	堀金幸栄，長谷川知子
9	総合演習：母性看護学	演習	予習：褥婦と新生児の看護技術について調べ，練習しておくこと。 復習：各演習後は指摘された部分を振り返り，できるまで練習しておくこと。	堀金，長谷川
10	総合演習：在宅看護学	演習	予習：がん末期，精神科疾患の症状や病態について調べておくこと。介護保険制度はじめ医療保険制度その他のフォーマルサービス，さらにインフォーマルサービスの社会資源についても調べておくこと。 復習：地域包括ケアシステムの視点から，支援方法についての振り返りをする	
11	総合演習：在宅看護学	演習	予習：認知症，筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病態について調べておくこと。介護保険制度・難病に関する制度，認知症高齢者	

			を支えるフォーマルサービス,さらにインフォーマルサービス等の社会資源についても調べておくこと。 復習： 地域包括ケアシステムの視点から,支援方法についての振り返りを行うこと。	
12	総合演習：精神看護学	演習	予習：統合失調症・気分障害患者の,身体的・精神的・社会的特徴をまとめる。 復習：ロールプレイを振り返り,統合失調症・気分障害患者の支援を,患者役の視点で考察すること。	鎌田由美子 佐藤亜紀
13	総合演習：精神看護学	演習	予習： 統合失調症・気分障害患者の特徴に合わせた看護についてまとめる。 復習：ロールプレイを振り返り,統合失調症・気分障害患者の支援を,看護師役の視点で考察すること。	鎌田, 佐藤
14	総合演習：高齢者看護学	演習	予習： 加齢に伴う正常老化について,身体的・精神的・社会的に調べておくこと 復習：看護師として,どのような場面が高齢者の日常生活に支障をきたしているのかを振り返り,メモしておくこと	石久保雅浩 榎原 香
15	総合演習：高齢者看護学	演習	予習:病的加齢変化のある高齢者に対するフィジカルアセスメントについて調べておくこと。 復習：高齢者に特徴的な疾病について,その対処方や看護介入方法についてメモしておくこと。	石久保 榎原

5. 成績評価の方法・基準

各領域で設定する演習課題および評価基準等の詳細は,事前に別途領域毎に提示する。

成人 25%, 小児・母性・在宅・精神・高齢者各 15% 合計 100%で評価する。合格基準(60%)に満たない場合には,単位認定できない。評価は「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を,ルーブリック評価表を基に,5段階評価で採点する。尚,ルーブリック評価表に関する詳細は各領域講義内で別途説明する。

6. テキスト・参考文献

原則として,既習のテキストおよび参考書等を用いる。

必用に応じて指示する。

7. 準備学習に必要な時間,又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修(学修課題)について,最低 90 分の予習および復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

指示を受けた知識及び技術に関して十分に準備して臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合卒業不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関等における看護師・助産師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。